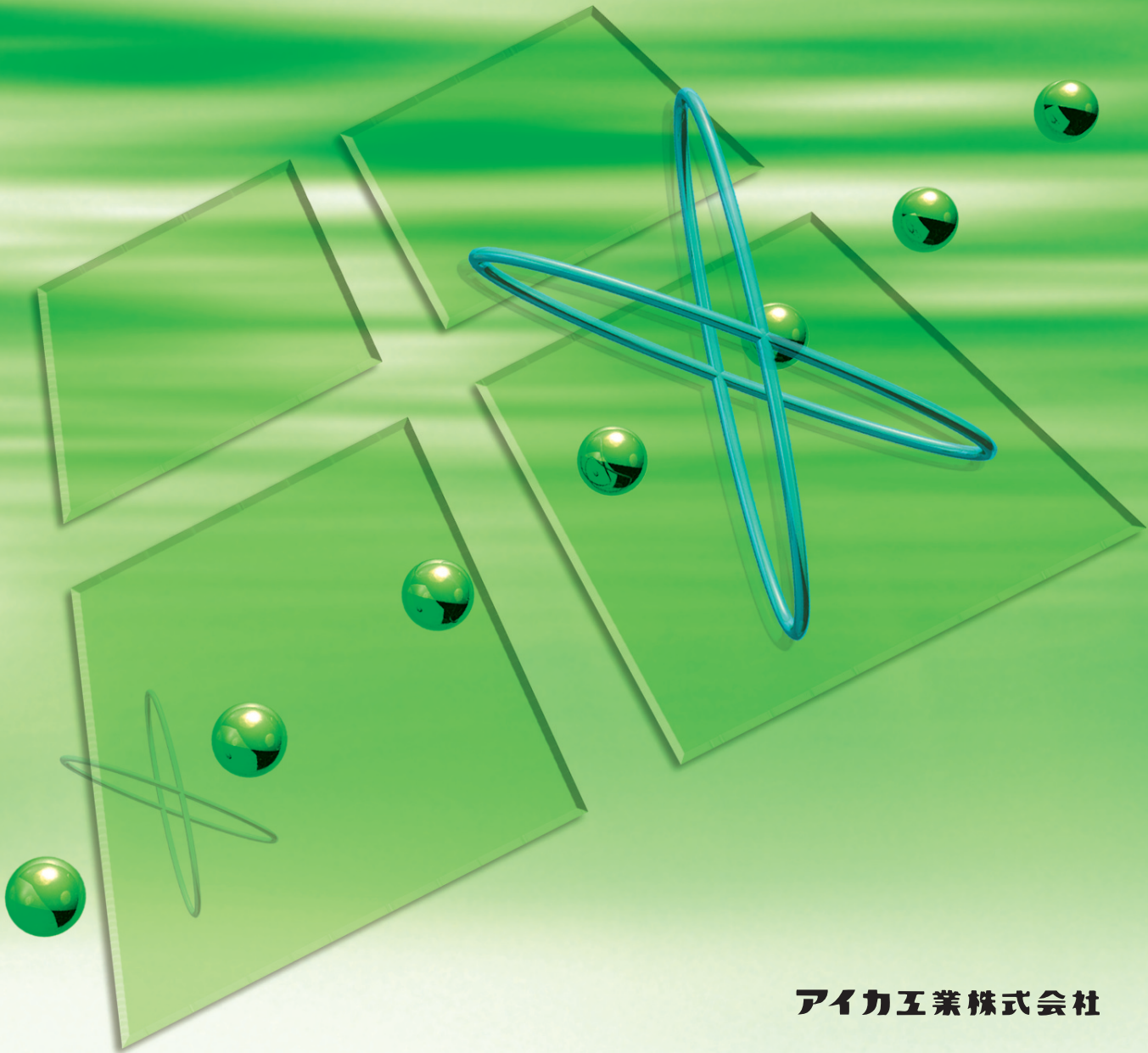
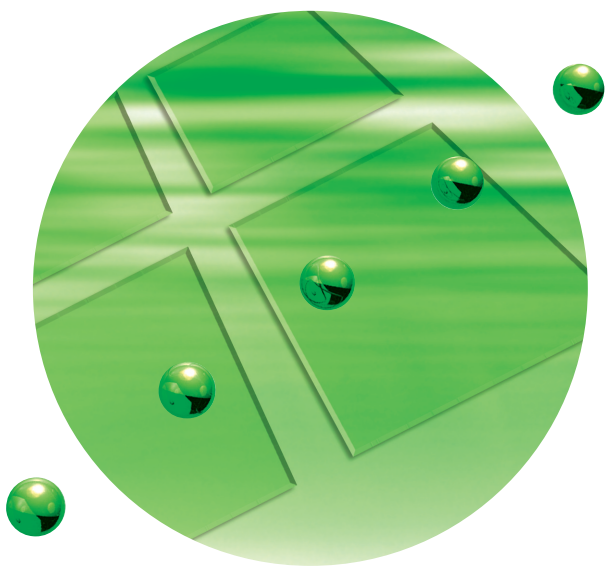


第106期 中間事業報告書

[平成17年4月1日～平成17年9月30日]



アイカ工業株式会社



CONTENTS

■ 株主の皆様へ	2
■ セグメント別のご案内	3
■ 財務情報	5
中間連結決算 中間連結貸借対照表／中間連結キャッシュ・フロー計算書 中間連結損益計算書／中間連結剰余金計算書	
中間単独決算 中間貸借対照表／中間損益計算書	
■ 会社の概要	9
■ 株式の状況	10
第106期中間配当金のお支払いについて	
■ 株主メモ	裏表紙

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第106期中間連結会計期間(自平成17年4月1日至平成17年9月30日)の営業の概況をご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善による設備投資の増加や、雇用情勢の持ち直しを背景に個人消費に回復のきざしが見られてきたものの、原油価格の高騰、それに伴う原材料高懸念など、先行き景気に対する不安材料を抱えたまま推移いたしました。

住宅市場におきましては、地価の割安感および低金利の継続などにより貸家、分譲住宅は堅調でありましたものの、持家住宅は建替えを中心とした二次取得者の購買意欲が乏しく弱含みで、総じて厳しい状況でありました。

このような状況にありまして当社グループは、環境配慮型商品の開発を一段と加速させるとともに、意匠と機能の向上にも積極的に取り組んでまいりました。また、原油価格高騰に伴う石油化学製品の値上げに対処するため、グループをあげて業務改革を強力に推進し、生産効率の向上、コスト削減、市場ニーズに即応した商品の開発に努める一方、商品への価格転嫁を図りましたものの原材料の値上げ分を完全に吸収するには至りませんでした。

中国・昆山市にある生産子会社「昆山愛克樹脂有限公司」は、平成17年8月に品質と環境のマネジメントシステムISO9001、ISO14001を、国内の関係会社を含む全拠点とインドネシアの生産子会社に続き同時取得いたしました。この2つのマネジメントシステムを有機的に運用し、より高品質な商品を安定供給できるようにするとともに当社グループの環境経営をさらに推進してまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は46,595百万円(前年同期比2.5%増)、経常利益は5,044百万円(前年同期比4.6%増)となりました。なお、減損会計の導入により特別損失に減損損失558百万円を計上した結果、中間純利益は2,657百万円(前年同期比4.5%減)となりました。

当期の中間配当につきましては、本年11月11日開催の取締役会におきまして、1株につき11円とし、12月9日を支払開始日とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、緩やかに回復しつつあるとの見方が定着しておりますが、原油価格の高止まりや素材価格の高騰、アメリカや中国経済の行方など景気回復に対する懸念材料も多く、予断を許さない状況が続くものと思われま

す。このような経営環境にありまして、当社グループは、ニーズを捉えた新商品の連続的な投入、より一層の営業力の強化と原価低減を推進し、持続的に事業を拡大しうる体制を構築するとともに、各カンパニーの相互補完体制が経営成果に最大限に反映できるようにしてまいります。また、グローバル戦略の一環として、中国・瀋陽市に新工場を建設し「瀋陽愛克浩博化工有限公司」の業務を全面移管するとともに、新たに縮合系接着剤などの生産品目の拡充を計画しております。当社グループは、環境経営、コンプライアンス(法令順守)経営、CSR(企業の社会的責任)を重視し、社会から信頼を得られる企業を目指すとともに、人材の育成に注力し、活力ある職場づくりを推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月



代表取締役会長

富田章嗣



代表取締役社長

渡辺 修

セグメント別のご案内

化成品セグメント

接着剤系商品につきましては、平成16年改正の大気汚染防止法に適應した環境配慮型商品である超低VOC（揮発性有機化合物）品や水系接着剤を、インテリアの各種床材用途向けに投入したところ好評でございました。

樹脂系商品につきましては、外装・内装仕上塗材が、意匠のバリエーションが豊富であるとともに、可とう性（ひび割れがしにくい）と低汚染性の機能が、戸建住宅の外装などで高い評価を得ることができました。改修市場では、塗床材「耐熱ピュール」が学校・病院・レストランの厨房など耐熱性能を要求される床に採用されるようになりました。

当セグメントは原油価格高騰に伴う石油化学製品の値上がりに対処するため、生産効率の向上に努めるかたわら、商品への価格転嫁を図りましたが、度重なる原材料の値上がり分を十分に吸収することができず収益を圧迫いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は13,159百万円（前年同期比0.6%増）となりました。



外装・内装仕上塗材
ジョリパット
〈外壁面への使用例〉



環境配慮型接着剤
Fフォースター（F☆☆☆☆）対応
アイエコエコボンド

建装材セグメント

多様なニーズが求められる商業施設におきまして、化粧板では木口の意匠を特徴とする商品が高い評価を受け、化粧合板では鏡面性能を向上させた新商品の投入が奏功し好評を得ることができました。また、環境への配慮を強く求められる医療福祉施設や教育文化施設などの公共施設向けに、特定のVOC（揮発性有機化合物）を一切含まない化粧合板の品揃えを拡大するとともに、本物志向のニーズに対応した新商品を投入することにより売上げを伸ばすことができました。

一方、かねてより注力していた壁面化粧材市場におきましては、多店舗展開する顧客に豊富な意匠と高機能の不燃ボードが多数採用されました。

その結果、当セグメントの売上高は13,943百万円（前年同期比3.8%増）となりました。



アイカメタミン化粧板
〈美容室への使用例〉



アイカ化粧ボード
〈壁面への使用例〉

住器建材セグメント

インテリア建材は、メラミン化粧板を使用した「メラフュージョンシリーズ」の高意匠性が評価され、設計・コーディネート市場に多数採用されました。「マーレス・リアルシリーズ」は、住宅のローコスト化への対応に遅れ苦戦いたしましたが、団塊ジュニア世代のトレンドに合致した「オブジェア」（金属階段）、玄関収納、リビングドアなどの単一商品の強化が奏功し成果ができました。カウンターは短納期システムの確立とR（曲面）スタイルの樹脂エッジ3次元木口対応の設計自由度が評価され、新たな顧客を開拓することができました。不燃化粧材「セラール」は、新意匠・新サイズの投入と即応体制の確立により戸建住宅・マンション・病院・学校などの新築工事から洗面・トイレ・賃貸住宅メンテナンスのリフォーム工事まで幅広く採用され売上げを伸ばすことができました。

その結果、当セグメントの売上高は15,585百万円（前年同期比2.7%増）となりました。



アイカカウンター
（空港受付カウンター
への使用例）

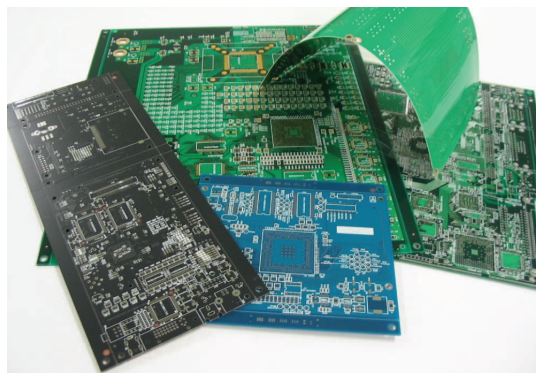


アイカカウンター
（キッチンカウンター・
扉への使用例）

電子セグメント

電子商品は、高速伝送・電磁波障害対策分野における技術を前面に打ち出し、プリント配線板のパターン設計や製造に注力いたしました。多品種・少量・短納期などの顧客ニーズ、RoHS指令（欧州連合での特定有害物質使用制限）対策・ハロゲンフリーなどの環境対応にも確実に応え、情報通信、半導体関連、FA（工場の自動化）などの分野で売上げを伸ばすことができました。一方でアミューズメント関係のプリント配線板、システム商品の売上げは減少いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は2,727百万円（前年同期比0.1%増）となりました。



アイカプリント配線板

その他セグメント

環境対応の保存剤の受託加工生産などにより、当セグメントの売上高は1,179百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

中間連結決算

●中間連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当中間連結 会計期間末 (平成17年9月30日現在)	前中間連結 会計期間末 (平成16年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	56,188,720	52,430,979
現金および預金	17,523,349	16,531,738
受取手形および売掛金	31,865,813	30,048,429
有価証券	397,040	100,000
たな卸資産	4,483,965	3,959,502
繰延税金資産	724,889	758,427
その他	1,227,776	1,084,774
貸倒引当金	△34,112	△51,894
固定資産	25,770,819	23,300,439
有形固定資産	16,313,095	16,584,093
建物および構築物	7,296,861	6,959,202
機械装置および運搬具	3,925,346	3,772,627
工具、器具および備品	927,758	914,171
土地	3,878,675	4,632,562
建設仮勘定	284,453	305,528
無形固定資産	1,334,252	742,901
連結調整勘定	—	291,405
その他	1,334,252	451,496
投資その他の資産	8,123,471	5,973,444
投資有価証券	6,775,408	4,821,982
長期貸付金	60,700	58,776
前払年金費用	—	123,421
繰延税金資産	41,951	105,553
その他	1,275,355	943,469
貸倒引当金	△29,944	△79,759
資産合計	81,959,540	75,731,418

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)

科 目	当中間連結 会計期間 (平成17年4月1日～ 平成17年9月30日)	前中間連結 会計期間 (平成16年4月1日～ 平成16年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,611,048	5,499,262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,675,858	△1,093,031
財務活動によるキャッシュ・フロー	△603,919	535,147
現金および現金同等物に係る換算差額	2,671	7,229
現金および現金同等物の増減額	333,940	4,948,607
現金および現金同等物の期首残高	17,189,408	11,583,131
現金および現金同等物の中間期末残高	17,523,349	16,531,738

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	当中間連結 会計期間末 (平成17年9月30日現在)	前中間連結 会計期間末 (平成16年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	23,940,299	23,429,076
支払手形および買掛金	14,978,764	14,532,246
短期借入金および 一年以内返済長期借入金	3,622,205	3,692,370
未払法人税等	1,991,183	1,874,699
未払消費税等	141,502	201,295
賞与引当金	1,099,245	1,143,802
その他	2,107,398	1,984,662
固定負債	1,227,103	923,984
長期借入金	—	18,000
繰延税金負債	440,654	63,361
退職給付引当金	338,422	446,535
役員退職引当金	210,893	224,132
その他	237,132	171,954
負債合計	25,167,402	24,353,060
少数株主持分		
少数株主持分	478,582	428,538
資本の部		
資本金	9,891,708	9,891,708
資本剰余金	13,744,639	13,744,333
利益剰余金	33,650,105	29,338,046
その他有価証券評価差額金	1,963,968	924,221
為替換算調整勘定	△28,579	△47,393
自己株式	△2,908,288	△2,901,097
資本合計	56,313,555	50,949,819
負債、少数株主持分および資本合計	81,959,540	75,731,418

● 中間連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	当中間連結 会計期間 (平成17年4月1日～ 平成17年9月30日)	前中間連結 会計期間 (平成16年4月1日～ 平成16年9月30日)
経常損益の部		
営業損益		
売上高	46,595,640	45,446,782
売上原価	33,657,720	32,825,148
売上総利益	12,937,919	12,621,633
販売費および一般管理費	7,949,361	7,818,409
営業利益	4,988,557	4,803,224
営業外損益の部		
営業外収益	149,363	147,807
営業外費用	93,549	126,966
経常利益	5,044,371	4,824,066
特別損益の部		
特別利益	28,294	104,807
特別損失	640,254	115,182
税金等調整前中間純利益	4,432,411	4,813,690
法人税、住民税および事業税	1,997,023	1,866,325
法人税等調整額	△273,890	102,833
少数株主利益	51,554	61,326
中間純利益	2,657,723	2,783,206

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

● 中間連結剰余金計算書

(単位:千円)

科 目	当中間連結 会計期間 (平成17年4月1日～ 平成17年9月30日)	前中間連結 会計期間 (平成16年4月1日～ 平成16年9月30日)
<資本剰余金の部>		
資本剰余金期首残高	13,744,584	13,299,652
資本剰余金増加高		
自己株式処分差益	55	444,681
資本剰余金中間期末残高	13,744,639	13,744,333
<利益剰余金の部>		
利益剰余金期首残高	31,798,839	27,345,627
利益剰余金増加高		
中間純利益	2,657,723	2,783,206
利益剰余金減少高		
配当金	730,357	714,488
役員賞与	76,100	76,298
利益剰余金中間期末残高	33,650,105	29,338,046

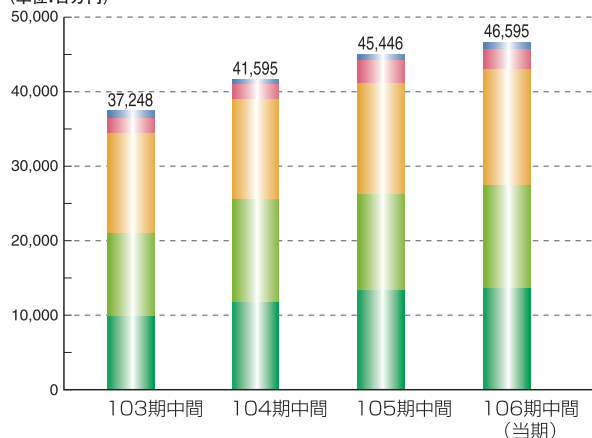
◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

● 売上高

■ 化成品 ■ 建築材 ■ 住器建材

■ 電子 ■ その他

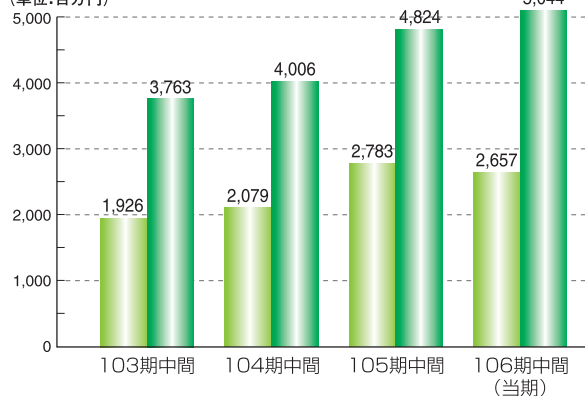
(単位:百万円)



● 経常利益と中間純利益

■ 経常利益 ■ 中間純利益

(単位:百万円)



中間単独決算

● 中間貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当中間会計 期間末 (平成17年9月30日現在)	前中間会計 期間末 (平成16年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	51,509,202	46,885,946
現金預金	15,857,556	14,790,041
受取手形	11,118,518	10,718,379
売掛金	19,703,205	17,309,263
有価証券	397,040	100,000
たな卸資産	2,795,526	2,309,762
繰延税金資産	601,266	625,311
その他の流動資産	1,071,067	1,079,384
貸倒引当金	△34,979	△46,197
固定資産	23,889,300	21,909,948
有形固定資産	12,179,178	12,526,147
建物	5,331,519	5,177,677
機械および装置	2,230,266	2,365,749
土地	2,834,399	3,232,139
その他の有形固定資産	1,782,993	1,750,581
無形固定資産	1,236,324	403,321
投資その他の資産	10,473,797	8,980,478
投資有価証券	7,031,884	5,104,204
子会社株式	2,190,946	2,846,377
子会社出資金	338,611	338,611
前払年金費用	—	123,421
繰延税金資産	—	64,653
その他の投資その他の資産	942,298	581,733
貸倒引当金	△29,944	△78,523
資産合計	75,398,502	68,795,894

科 目	当中間会計 期間末 (平成17年9月30日現在)	前中間会計 期間末 (平成16年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	21,251,602	19,959,614
支払手形	314,160	1,261,178
買掛金	13,756,731	12,153,263
短期借入金	2,750,000	2,500,000
未払法人税等	1,746,191	1,634,567
未払消費税等	125,452	163,471
賞与引当金	945,000	960,000
その他の流動負債	1,614,066	1,287,133
固定負債	975,929	324,325
預り保証金	184,124	136,758
役員退職引当金	184,765	187,566
退職給付引当金	165,952	—
繰延税金負債	411,836	—
その他	29,251	—
負債合計	22,227,532	20,283,939
資本の部		
資本金	9,891,708	9,891,708
資本剰余金	13,752,770	13,752,464
資本準備金	13,277,609	13,277,609
その他資本剰余金	475,161	474,855
自己株式処分差益	475,161	474,855
利益剰余金	30,492,168	26,851,496
利益準備金	1,622,876	1,622,876
任意積立金	15,667,689	14,173,051
中間未処分利益	13,201,602	11,055,568
株式等評価差額金	1,942,611	917,382
自己株式	△2,908,288	△2,901,097
資本合計	53,170,970	48,511,954
負債および資本合計	75,398,502	68,795,894

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

● 中間損益計算書

(単位:千円)

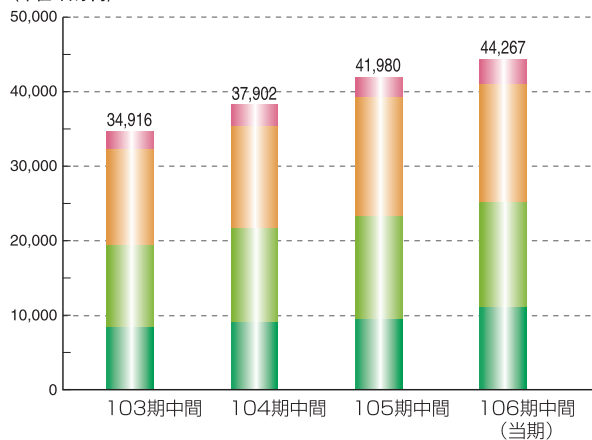
科 目	当中間会計 期間	前中間会計 期間
	(平成17年4月1日～ 平成17年9月30日)	(平成16年4月1日～ 平成16年9月30日)
経常損益の部		
営業損益の部		
売上高	44,267,256	41,980,785
売上原価	32,837,673	31,075,938
販売費および一般管理費	7,214,737	6,870,163
営業利益	4,214,845	4,034,684
営業外損益の部		
営業外収益	367,255	329,874
営業外費用	76,184	107,847
経常利益	4,505,916	4,256,711
特別損益の部		
特別利益	28,542	98,931
特別損失	633,377	101,420
税引前中間純利益	3,901,082	4,254,221
法人税、住民税および事業税	1,670,000	1,610,000
法人税等調整額	△233,077	77,986
中間純利益	2,464,159	2,566,235
前期繰越利益	10,775,964	8,489,332
合併に伴う株式消却額	38,521	—
中間未処分利益	13,201,602	11,055,568

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

● 売上高

■ 化成品 ■ 建築材
■ 住器建材 ■ 電子

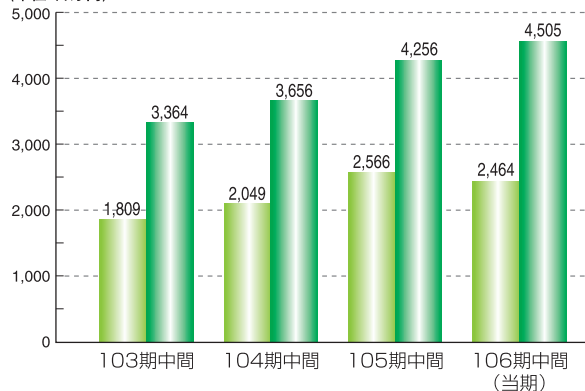
(単位:百万円)



● 経常利益と中間純利益

■ 経常利益 ■ 中間純利益

(単位:百万円)



プロフィール

- 社名 アイカ工業株式会社
- 本社 愛知県清須市西堀江2288番地
- 電話 052(409)8000〔案内〕
- 設立 昭和11年10月20日
- 資本金 98億9,170万8,792円
- 事業所

[生産拠点]	本社工場(愛知県)	甚目寺工場(愛知県)
	福島工場(福島県)	広島工場(広島県)
	茨城工場(茨城県)	

[開発拠点]	R&Dセンター(愛知県)
	R&Dセンター福島(福島県)

[営業拠点]			
札幌支店(北海道)	仙台支店(宮城県)	盛岡営業所(岩手県)	
福島出張所(福島県)	東京支店(東京都)	埼玉支店(埼玉県)	
横浜支店(神奈川県)	柏出張所(千葉県)	千葉営業所(千葉県)	
宇都宮営業所(栃木県)	北関東支店(群馬県)	新潟営業所(新潟県)	
松本出張所(長野県)	名古屋支店(愛知県)	静岡支店(静岡県)	
金沢支店(石川県)	大阪支店(大阪府)	神戸支店(兵庫県)	
京滋営業所(京都府)	広島支店(広島県)	岡山営業所(岡山県)	
高松支店(香川県)	福岡支店(福岡県)	鹿児島営業所(鹿児島県)	
関東支店(東京都)	中部支店(愛知県)	関西支店(大阪府)	

■主要な製品

[化成品セグメント]

外装・内装仕上塗材、塗床・壁材、各種接着剤など

[建装材セグメント]

メラミン化粧板、化粧合板など

[住器建材セグメント]

玄関・室内用ドア、インテリア建材、カウンター、不燃化粧材、収納扉など

[電子セグメント]

プリント配線板、電子システム商品など

[その他セグメント]

保存剤など

■連結子法人等

[会社名]	[所在地]	[主な事業内容]
アイカインテリア工業株式会社	愛知県	住器建材製造
アイカハリマ工業株式会社	兵庫県	建装材・住器建材製造
ガンツ化成株式会社	大阪府	化成品・その他製造販売
アイカ電子株式会社	岐阜県	電子製品製造
テクノウッド社	インドネシア	建装材製造
アイカインドネシア社	インドネシア	化成品・建装材・住器建材製造販売

取締役・監査役および執行役員

[代表取締役会長] 富田 章 嗣

[代表取締役社長] 渡辺 修

[専務取締役] 野田 近

[常務取締役] 佐治 一良

[取締役] 岩田 照 徳

[取締役] 堀田 益 之

[取締役] 森 永 博 之

[取締役] 伊 東 善 光

[常勤監査役] 深 田 卓 朗

[常勤監査役] 酒 井 眞 孝

◎[監査役] 福 井 清 晃

◎[監査役] 浦 部 康 資

[執行役員] 岩 瀬 幸 広

[執行役員] 相 馬 治 夫

[執行役員] 田 中 彰

[執行役員] 磯 貝 透

[執行役員] 小 野 勇 治

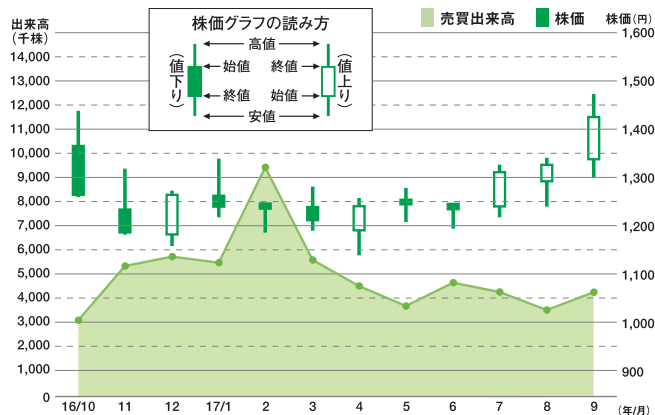
[執行役員] 岡 田 賢 児

(注) ◎印は「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18号第1項に定める社外監査役であります。

● 発行済株式の総数…69,890,664株

● 株主数…7,700名

株価・売買出来高の推移 (東証)

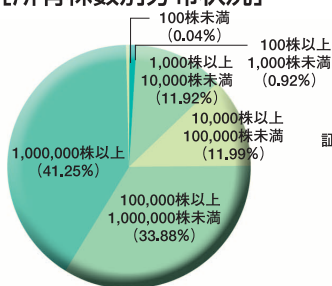


大株主 (上位10名)

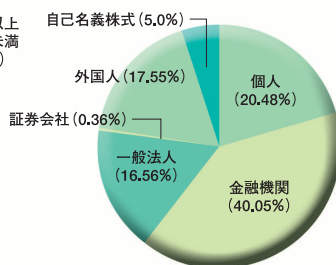
株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,226	9.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,762	8.69
ジェービーモルガンチェースバンク385050	1,940	2.92
東京海上日動火災保険株式会社	1,867	2.81
アイカ工業取引先持株会	1,327	2.00
住友生命保険相互会社	1,318	1.98
デクシア ビーアイエル ジュリアス ベア マルチストック ジャパン リーディング	1,286	1.94
アイカ工業株式保有会	1,248	1.88
電気化学工業株式会社	1,229	1.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,129	1.70

※当社は、自己株式3,496千株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないので、上記大株主から除いております。

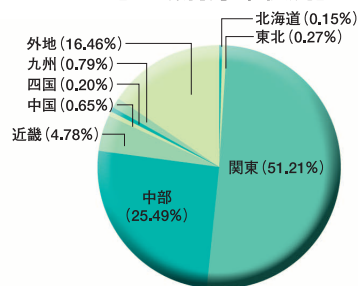
【所有株数別分布状況】



【所有者別分布状況】



【地域別分布状況】



第106期 中間配当金のお支払いについて

平成17年11月11日開催の当社取締役会におきまして、第106期(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)の中間配当金のお支払いについて下記のとおり決議いたしました。

記

当社定款第29条の規定に基づき、平成17年9月30日の最終の株主名簿に記載された株主または登録質権者に対し、次のとおり中間配当金をお支払いいたします。

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 中間配当金 | 1株につき11円 |
| 2. 支払請求権の効力発生日
ならびに支払開始日 | 平成17年12月9日(金曜日) |

以上

住まい空間を演出する



株主メモ

■ 決算期日	3月31日
■ 定時株主総会	毎年6月
■ 株主確定基準日	1) 定時株主総会、利益配当金 3月31日 2) 中間配当金 9月30日 3) その他必要があるときは、あらかじめ 公告した一定の日
■ 公告掲載新聞	日本経済新聞
■ 1単元の株式数	100株
■ 名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■ 同連絡先	〒137—8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120—232—711 (通話料無料)
■ 同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
■ 上場証券取引所	東京・名古屋
■ 貸借対照表および 損益計算書掲載の ホームページアドレス	http://www.aica.co.jp/kessan/index.html

(お知らせ)

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社の電話およびインターネットでも24時間承っております。電話(通話料無料)0120—244—479 [本店証券代行部] インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>